

●新刊図書紹介 (★はピックアップ図書)

図 書 名	著 者	出 版
ま ち づ く り		
★ここまでする 実践公共ファシリティマネジメント	小島 卓弥(編)	学陽書房
公共施設マネジメントハンドブック	小松 幸夫(監修)	日刊建設通信新聞社
白熱講義 これからの日本に都市計画は必要ですか	簗原敬・饗庭伸 ほか	学芸出版社
地 方 自 治		
★現場発！生活保護自立支援 川崎モデルの実践	川崎市生活保護・自立支援室	ぎょうせい
各 種 デ ー タ		
全国市町村要覧 平成26年版	市町村要覧編集委員会(編)	第一法規
平成26年度 中小企業施策総覧	中小企業庁(編)	全国官報販売協同組合
そ の 他		
★日経大予測2015 これからの日本の論点	日本経済新聞社(編)	日本経済新聞出版社
統計学I データ分析の基礎 オフィシャル スタディノート	日本統計学会(編)	日本統計協会
いちばんわかりやすい確定申告の書き方 平成27年3月16日締切分	土屋裕昭・樋川智子(監修)	ダイヤモンド社

もっと知りたい！和歌山城 その②

お城の石垣には、様々な種類があることをご存知でしょうか？

石垣の積み方は、時代によって変化しており、使われている石の形を見て、次の3種類に分けられます。

①野面積 (のづらづみ)

自然の石をあまり加工せずに積み上げたもので、最も原始的な石垣。

②打込接 (うちこみはぎ)

石を少し加工し、大きさをそろえて積み上げたもの。石同士の隙間がわずかになっているのが特徴で、16世紀末ごろから広く用いられるようになった。

③切込接 (きりこみはぎ)

石を徹底的に加工し、石どうしの隙間を全くなくした
もの。江戸時代に入ってから普及した。

なんと、和歌山城ではこの積み方すべてを見ることができるのです！

また、それぞれの積み方に使われている石の種類が異なっていることも、和歌山城の大きな特徴です。

参考図書：三浦正幸「城のつくり方図典」(小学館)

石垣～影の名脇役～

- 和歌山城の石垣と石の主な採取地
※ () は使われている石の種類



①野面積 (緑色片岩)
岡公園や和歌浦



②打込接 (砂岩)
友ヶ島



③切込接 (花崗岩)
熊野地方

和歌山城の石垣は、写真のように時代によって積み方の違いがはっきりしているのも、とても見ごたえがあります。

また、すべて県下で採れた石が使われているという事も、見所のひとつですね。中には、この石垣を見るために和歌山城に来られる方もいらっしゃるのだとか・・・！

石垣は、天守閣に比べると地味な存在に思われがちですが、お城をどっしりと守るとても重要な部分です。

また、面白い積み方をしていたり、人が積んだとは思えない高さだったり、石垣はお城の個性が出るところでもあると思います。

和歌山城へ行かれた際は、ぜひ石垣にも注目してみてください。

写真の場所：①、②…裏坂登り口付近の石垣
③…伏虎像前の石垣